

令和7年度都立葛飾野高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・副教材などの提出物で指導の充実を図ることを確認 ・「話し合うこと」の指導に関する言語活動に関する活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査ごとに担当者全体での問題の検討と精査 ・添削指導等による読解力、記述力向上への取り組み ・授業時の「話し合うこと」についての指導方法の開発
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学的な見方・考え方」を働かせた数学的活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に捉え、解決できるような能力を身につけられるような教材の活用及び開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの問題解決の過程を振り返り、考察を深め、評価・改善しようとする態度を適切に評価するような授業の実施
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が様々な視点や考えに触れる対話的・実践的な活動の充実。 ・興味・関心を高める授業の実践。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会を充実させ積極的に意見交換を積極的に行う。また、相互授業見学を推奨し授業の質の向上を目指す。 ・各史資料や視聴覚教材等を積極的に活用する。 ・授業時には発問を工夫(タイミングや内容)しグループディスカッションを取り入れる。適切に対話的な活動が行われているか精査する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各研修会や研究協議会に参加し、社会教育機関と連携した授業を行い、生徒の知的好奇心を刺激するとともに教員自身の授業力向上を目指す。 ・指導教諭の模範授業や異校種の公開授業に参加することで、中学校社会科との接続を意識し高等学校における地歴公民科教育の充実を図る。 ・公開授業を積極的に行い、他教科の先生方からの指導をいただくことで授業力向上を目指す。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい知識を身につけ、世に蔓延する疑似科学に騙されないような科学リテラシーの習得。 ・理科教育を通じて得られる論理的思考力や分析力などの向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然現象に触れ、自ら学び探究する姿勢を育む教育を行う。 ①実験や課題研究等の充実。 ②新聞や論文等の資料を活用した授業の導入。 ③学校外の施設訪問やフィールドワークの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験結果から得られる情報の取捨選択の方法やレポートの書き方などを徹底的に指導する。 ・自ら問題を見出し、それを解決する思考プロセスを身につけさせる。 ・他者の受け売りではなく、自分の言葉で自然現象について議論する力を身につけさせる。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」「自分の考えを述べること」の指導の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情に寄り添ったり、文中で使われている比喩表現に注目させるなど、よりintensiveな読み方をしていく。文章の内容を理解すること自体がゴールではなく、リーディングを通して自らの考えを深めることが重要であると意識させるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・科目の特性に応じて、プレゼンテーションによるパフォーマンステストを実施する。 ・題材に関連した意見を述べたり、英語でコメントし合う活動を通じて書くことへの指導に繋げる。

<p style="text-align: center;">芸術</p>	<p>生涯学習としての「芸術観」の醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音美書の各々において、基礎となる知識技能を習得しながら将来につながるような教材を開発する ・より良い作品を鑑賞することで、自己の表現能力が高められるよう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術・書道においては、優秀作品を校内に展示し、学習意欲を高める。 ・音楽においても、何らかの方法で授業の成果の発表を模索する。
<p style="text-align: center;">家庭</p>	<p>生活を主体的に営むために必要な知識の理解と技能の実践</p>	<p>家庭基礎ではあるが、被服実習に取り組み、そこで製作したものを、授業での調理実習で活用することで、実習の製作意図を理解し、各自の生活に役立つことを実感させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活の中から問題を見出して、課題を設定し、その解決に向けた人選を評価、改善する等、障害を見通して課題を解決する力を養う。 ・グループ学習を通して、自分や家庭や地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
<p style="text-align: center;">体育</p>	<p>運動や健康について、合理的な解決方法を思考判断し活動する。</p>	<p>各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<p>自らの適正に応じて、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
<p style="text-align: center;">情報</p>	<p>「思考力、判断力、表現力」を育成するための指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に取り組める実習課題等の教材の開発を行う ・「思考力、判断力」を育成するための教材の開発を行う 	<p>情報科の授業の中で、グループまたは個人で探究活動を実施し、プレゼンテーションを通じて、「表現力」の育成を図る</p>